

いの流水俳壇

友章 水月選

「当季雑詠」

マスクして恋をしている目が笑う

岡本とも子

(評)人間の感情を表すのは主に顔である。その中でも、諺で「目は口程に物を言う」とか「目は心の鏡」と言われるように「目」である。マスクをしていて顔の表情が分からなくても目を見れば、笑っている、泣いている、怒っていると分かる。揚げ句は笑っている目でああ恋をしているなど分かるのである。

○怒りあることがありありマスクの目

竹下 流彩

洒落ごろ少しありけり秋日傘

小野川町子

(評)年を取ると男女を問わずお洒落は必要であると言われるが特に女性は然りである。

お化粧、傘や持ち物の色彩や形、髪形や服装などのお洒落が心を豊かにし生活を楽しくしてくれるのである。自分だけでなく回りの人にまで及び人生を明るくしてくれる。

季語の日傘は強い日射しを避けるためで夏の季語であるが春は春日傘、秋は秋日傘として使われる。

○日傘して汽笛の音の次を待つ

藤田 湘子

温度差に戸惑いつつの冬支度

竹崎 光子

(評)今年10月に入っても真夏日(25度)

が続いた。やっと涼しくなつたと思つたら暑かつたりとその繰り返してあつた。そのため日中の温度差も酷く毎日の生活、特に農家にとっては収穫や植付けそして衣服の始末や準備などの冬支度に戸惑つたのである。

生活句としての実感がわかる句である。柿の皮干す山家の冬支度

小峰 恭子

ふと出会い唯なつかしき赤のまま

田蔦恵美子

(評)量販店やデパートなどで思いもかけず友人に出会うことがよくある。遠い過去のことを思い出し唯なつかしきで一杯になり、時を忘れて話し込んでしまつたのである。

「赤のまま」の季語がこの句では心の底から懐かしさを強調しているように思う。

季語の「赤のまま」は犬蓼という植物で粒状で紅色の花を赤飯に見たてて「赤のまま」また「赤のまんま」と呼ぶ。

○さざ波のここまよする赤のまま

池上不二子

二句抄

老いとも旅の秋晴ときめきぬ 片岡 包女

土佐なれや菊に鱈の尾が跳ねる 森岡 照月

石露の花気品揃の美人顔 森岡 照月

櫻櫓の実香りを放し人を呼ぶ 竹崎たかひろ

役目なお肥やしとならん枯落葉 竹崎たかひろ

喜怒哀楽落葉の唄う吹き溜まり 竹崎たかひろ

わが畑の光のひとつ冬の蝶 間 浩太

風の秋男は空岳蹴りたがる 岡村 嘉夫

足車付けて大行く秋の暮 岡村 嘉夫

不満など空へ吐きたす枇杷の花 井上 郁子

数多ある未読の本や小鳥来る 井上 郁子

山柿に陽のかたむきて朱色増す 井上 郁子

庭草に追わる老の手秋深む 大川 節弥

枯れ草の色 蠟燭、一步出ず 大川 節弥

秋深し絡繰人形時を告ぐ 伊藤 萩甫

画数多くカナで済ませりそぞろ寒む 信清 澄恵

行き先は秋の空かも石の段 津田 久美

彼岸花介護施設の机上にも 川村 博子

浜の猫みな太りぞみ石露の花 川村 博子

揺れながらとびつく構えのこづち 小野川町子

悠然と地熊も通る柚子の里 岡本とも子

ひっそりと主なき庭つわの花 田蔦恵美子

まだ遊び足らぬ我なり十三夜 竹崎 光子

秋耕の人去り急に暮にけり 友章 水月

草紅葉母子のこぎを暖めり 友章 水月

虫がね知識拾ひし文化の日 友章 水月

落鮎の錆色串に火の匂ひ 友章 水月

秋蝶の花芯に風をたたむ翅 友章 水月

名 句 鑑 賞 友章水月

旅に病んで夢は枯野をかけ廻る 芭蕉

この句は旅の途中に病気で寝込んでしまいみる夢は枯野を駆け廻っているというのである。旅にあこがれ、旅先の各地でその風土に接し紀行文や俳句を詠み、人生もまた旅であるといっている。

元禄7年5月伊賀上野の生家に帰郷、9月に奈良から大阪へ来たが病状悪化、10月8日病床でこの句を筆記させた芭蕉最後の一句である。12日死去享年51歳。遺言により木曾義仲を祀る義仲寺の義仲の墓の隣りに葬られた私もかつて義仲寺を訪ね、芭蕉翁の小さな墓の前で掌を合わせたことであった。

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。今年もご指導ご協力をよろしくお願ひします。皆様方の益々のご健勝をお祈りいたします。

次 題 「当季雑詠」五句

締め切り 毎月五日

投句先

社会教育課 いの町3597

電話 89312012

今月のごども川柳

しんごうで 青になつても 右左

川内小 4年 西内 琴音

(評)先生や、お父さんお母さんの言われることをよく聞く、素直な4年生が川柳によく現れています。うれしくなる川柳をありがたう。

ランドセル 6ねんせいで おわりだな

川内小 1年 市川 あい

(評)あいさんは1年生。ランドセルをしようて学校に行くうれしさがよく現れています。6年生までずっと使おうと、ランドセルを大事に思うあいさんがうれしいですね。

あいさつは 人の心を いやします

川内小 3年 古谷ねいろ

友達 は とても大事な 宝物

伊野小 5年 笹本 涼介

いのちはね こともおとなも だいじだ

川内小 1年 よこばたけゆう

たわら引き がんばったけど 15位だ

吾北小 5年 柳瀬 翼

夏がすぎ ゆうぐれはやく なりました

川内小 4年 高橋 奈甫

あやまると ぼくの心は 花ばたけ

伊野小 5年 井上 英人

夏休み いろんな思い出 できたよね

川内小 5年 桑瀬 愛莉

こいのぼり げんきにそらを およいでる

川内小 1年 きたぞえはるな

※「ごども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。次回提出締め切りは1月10日(金)です。たくさんの皆さんの応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします。)

※選評は、川柳連会の皆さんにお願いしています。